

薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。

薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

イリノテカン塩酸塩点滴静注液「SUN」

一般名： イリノテカン塩酸塩水和物 (Irinotecan Hydrochloride Hydrate)		販売名	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 40mg 「SUN」	イリノテカン塩酸塩点滴静注液 100mg 「SUN」
--	--	-----	---------------------------	----------------------------

1. どんな薬

- この薬は、がん細胞の遺伝子（DNA）の合成にかかわる酵素を阻害し、がん細胞の増殖を抑えます。[抗悪性腫瘍剤]

2. この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊗ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師に相談してください。
 - ・骨髄機能抑制のある人
 - ・感染症にかかっている人
 - ・下痢（水様便）のある人
 - ・腸管麻痺、腸閉塞のある人
 - ・間質性肺炎又は肺線維症の人
 - ・多量の腹水、胸水のある人
 - ・黄疸のある人
 - ・アタザナビル硫酸塩を使用している人
 - ・過去にイリノテカン塩酸塩点滴静注液「SUN」に含まれる成分で過敏症のあった人
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師に相談してください。
 - ・糖尿病の人
 - ・全身衰弱が著しい人
 - ・遺伝性果糖不耐症の人
 - ・グルクロン酸抱合異常のある人
 - ・UGT1A1 遺伝子多型（UGT1A1*6、UGT1A1*28）について、医師から説明を受けたことがある人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には一緒に使用してはいけない薬や、一緒に使用する場合に注意が必要な薬、食べ物や飲み物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や薬剤師に相談してください。

3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用など
体じゅうがかゆい、皮ふにブツブツができる、のどがかゆい、ふらつき、	重い過敏反応

ドキドキする、息がしにくいと感じる	
熱が出る、体がゾクゾクして寒く感じる、のどの痛み、鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい、頭が重い感じがする、ドキドキする、息がハアハアして苦しくなる	こつずいきのうよくせい 骨髄 機能 抑制
何度も水のような便が出る、おへそより下のお腹が痛い、体が重くて動きたくない感じがする、熱が出る	げり 重い 下痢
熱が出る、お腹がパンパンになる感じがする、お腹が痛い、水のような便が出る、便に血が混じる（明るい～黒ずんだ赤色に見える）	ちようえん 腸炎
熱が出る、体がゾクゾクして寒く感じる、体が重くて動きたくない感じがする	かんせんしやう 重い 感染症
あおあざができる、鼻血、歯ぐきからの出血、尿に血が混じる、便に血が混じる、ぼんやりしてまわりのことがよく分からなくなる、息がハアハアして苦しくなる、ドキドキする、尿の量が減る、皮ふが黄色くなる、目の白い部分が黄色っぽくなる	はしゆせいけつ かんないぎやうこしやうこうぐん 播種性 血 管内 凝固 症候群 (DIC)
鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい	しゅつけいこう 出血 傾向
お腹がとても痛い、吐き気、吐く、体がゾクゾクして寒く感じる、熱が出る、ふらつき、息がハアハアして苦しくなる、ぼんやりしてまわりのことがよく分からなくなる	ちようかんせんこう 腸管 穿孔
吐き気、吐く、吐いた物に血が混じる（赤、茶、黒などに見える）、お腹が痛い、便に血が混じる、黒い便が出る	しやうかかんしゅつけつ 消化管 出血
便やおならが出にくい、吐き気、吐く、お腹がパンパンになる感じがする、お腹が痛い	ちようへいそく 腸 閉塞
せき、息がハアハアして苦しくなる、息がしにくいと感じる、熱が出る	かんしつせいはいえん 間 質性 肺炎
吐き気、胃がムカムカして気持ち悪い、胃のあたりで焼け付くような感じがする、吐く	悪心・嘔吐
食欲がない	食欲不振

- 患者さんや家族の方は、使用前に、この薬の効果や注意すべき点について十分に説明を受けてください。
- 妊娠する可能性のある人は、この薬を使用している間および最終使用後 6 ヶ月間の避妊の必要性和適切な避妊法について説明を受けてください。
- 男性は、この薬を使用している間および最終使用後 3 ヶ月間のバリア法（コンドーム）を用いた避妊の必要性について説明を受けてください。
- 高齢の人では生理機能が低下しており、排泄が遅れるため、骨髄機能抑制、下痢等の副作用には特に注意する必要があります。これらの症状があらわれた場合は、受診してください。

4. ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較적으로よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
毛が抜ける	脱毛
お腹が痛い	腹痛
体が重くて動きたくない感じがする	けんたいかん 倦怠感

5. 保管方法

—

6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：サンファーマ株式会社 (<https://jp.sunpharma.com/>)

電話：フリーダイヤル 0120-22-6880

受付時間：9時00分～17時00分（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>